

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 1 日

仕事の内容	地方創生活気ある商店街づくり事業					
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係	課長名	小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。				施策番号	3 - 5	-
【施策名】 商業の振興				総合計画書 (ページ)	77	
予算名	款	7	商工費	項	1	商工費
				目	2	商工振興費
				事業	1	地方創生活気ある商店街づくり事業

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)	
		モデル地域内の事業者及びモデル地域内への創業希望者 →		本事業の参加者数	
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)	
		にぎわいの創出 →		本事業参加者による創業者数	
		③ そのために何をしましたか。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
		①ワークショップの実施 ②商店街出店創業等支援事業(商業塾及び個別支援の実施) ③事業改善等支援事業(経営支援セミナー及び個別支援の実施) ④市場調査の実施 →		①4回 ②12回(商業塾7回+個別支援5回) ③12回(経営改善セミナー3回+個別支援9回) ④1回	

2	指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
		対象指標	①の数値	人			39人 (①14②9③16)		
		成果指標	②の数値	件			0		
		目 標	②の目標値	件			0	4	4
			目標値設定の考え方	国から認定を受けた推進交付金の計画書上の目標値を記述したものである。					
活動指標	③の数値				29				

3	経費	事業費(実績)		円			5,060,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源		円			2,560,000	
		一般財源		円			2,500,000	
		特定財源		円			0	
		(うち受益者負担)		円			0	
		人件費(目安)		人			0.2	
		所要人数(再任用)		人			0.0	
職員人件費(再任用以外)		円			1,648,800			
職員人件費(再任用)		円			0			
事業費+人件費		円	0	0	6,708,800			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
		平成30年度から国の地方創生推進交付金の採択を得て、3年計画で行う事業である。モデル地域内の商店街の活性化を図るため、実施するものである。将来的には、モデル地域での成功体験を市内全域に波及させていくものである。	
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
		市民や商工会とともに、モデル地域の中心である商店街の活性化に向けた機運醸成をワークショップにおいて実施したことで、事業者の方々の活性化に向けたきっかけ作りを行うができた。	

仕 事 の 内 容	地方創生活気ある商店街づくり事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見  
この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について  
市内商店街の関係者を集め、事業の説明を行ったうえで、モデル地域の中心を担う商店街を、市内全商店街に対して募集したところ、「富士見通り商栄会」に手を挙げていただいた。「富士見通り商栄会」を本事業のモデル地域の中心となる商店街とし、事業を推進していく。他の商店街においても、否定的な意見はなく、何かあれば協力をすると意見もいただいた。事業に参加いただいた事業者からは、市内商店街の活性化に向けた良いきっかけとなると意見もいただいた。

6 市民協働  
(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）

取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
--------	------	---

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点

7 課題  
(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容  
平成30年度から開始した新規事業である。  
(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。  
3年計画の1年目として、各取組みを行った。ワークショップは、モデル地域の中心を担う富士見通り商栄会の会員の方々を中心に、周辺商店街の会員の方や、商工会、市職員をメンバーとして、今後の商店会の活性化の機運醸成に向けた会として4回実施したものである。商店街出店創業等支援事業及び事業改善等支援事業については、それぞれ創業希望者と、市内既存事業者に対して、創業や経営改善に係る知識付与と、専門家による個別相談を行ったものである。また、市場調査については、モデル地域を中心とした地域の、市場調査を行ったものである。  
(3)(2)を踏まえた今後の課題  
平成30年度については、市内モデル地域内での創業希望者と、既存事業者のそれぞれに対しての取組みを行ったが、今後はそれぞれの立場の方々が、うまく溶け込みながら商店街の活性化に向けて協働できるよう、支援していく必要がある。

8 今後の方向性  
(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）  
(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等  
チャレンジショップでのお試し創業や、空き店舗ツアーでの大家さんと創業希望者のマッチングをとおして、創業希望者のモデル地域内での創業を促し、引き続き行うワークショップへの参加も促すことで、既存の事業者と、新規創業者との協働を図るものである。  
(3)改革・改善案による期待成果  
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------